



編集 SEF事務局  
 連絡先 080-8865-0951  
 URL <http://sef-jpn.org>

**巻頭のことば**

**理事長 佐立弘臣**

新年明けましておめでとうございます。  
 この4年、コロナの感染拡大で多くの制約がありました。昨年からはコロナも落ち着き、年末はゆっくり過ごされ、新たな気持ちで新年を迎えられたことと思います。  
 昨年を振り返ると、国内外で実に様々な出来事がありました。コロナ感染による社会的、経済的な影響が大きく緩和に向かう一方で、ロシアとウクライナの戦争、イスラエルとハマスの衝突、エネルギー・原材料価格の高騰、円安、インフレなど極めて不安定な情勢で推移しました。年末には政治と金の問題がまた出てきて、更に不透明さが増えています。  
 昨年、SEFの活動は徐々にコロナ前の状態に戻り、会員も増えてきました。新たなテーマ「子供ロボット教室」、「戦略マップ」、「プラントエンジニア支援」・・・など出てきました。SEFの強みはいろいろな分野の技術・スキル・経験・人脈を持つ人材です。会員の皆様にはSEFへの想いを具体的な目標にいただき、その実現に向け共に活動を重ねていきましょう。  
 今年の干支は「辰」です。辰は「力強さ」や「成功」を象徴し、新たな始まりやチャンスの年として期待されています。私は辰年生まれ、年男、84歳になります。新年になると、「春風や 闘志いだきて 丘に立つ」、高浜虚子のこの句を思い出します。会員の皆様ともに新たな挑戦をし、2024年は活動を更に活発にしていきたいと思っています。よろしくお祈りいたします。

**12月度理事会より (第242回 12月13日)**

**事務局**

1. 来期方針検討会の開催	→可決承認	8. ACL社との各種契約書の締結	→可決承認
2. 第22期(2023年度)理事会経費の支払い	→可決承認	9. 業務支援事業部第22期2Qの活動報告	→報告了承
3. 第23期(2024年度)年間スケジュール	→可決承認	10. 2023年分支払調書とマイナンバー収集	→報告了承
4. 2024年2月度会員交流会の開催	→可決承認	11. 第22期(2023年度)事業成行期末予想	→報告了承
5. HPリニューアル	→再提案	12. 2023年10月度・11月度月次会計報告	→報告了承
6. 会員管理のデータベース化	→再提案	13. 2023年10月度会員交流会の議事録	→報告了承
7. 正会員の入会－堀越繁氏	→可決承認	14. 準会員の入会－岡恵介氏	→報告了承

**事業報告 (時事問題研究会)**

**担当理事 波多野正幸**

2023年度の時事問題研究会は、昨年と同様に毎月1回2時間30分のリモート形式で実施しています。リモート形式の研究会も定着した感があります。時事問題研究会のために外出し、帰りに一杯飲みながらの議論も懐かしいものがありますが、リモートの手軽さには勝てない面があります。4月にはウクライナ紛争その6を昨年度の継続として実施しました。長引く紛争の解決の糸口は見つかりませんが、紛争の背景と問題を共有できたと思います。5月から7月は生成AIの衝撃(ChatGPT公開の波紋)をテーマに技術論ではなく、社会への影響、課題を主体に研究しました。8月は日銀新総裁と異次元緩和、9月は少子化問題と対策、10月は雇用・労働・賃金に関する問題、11月はイスラエルとパレスチナ紛争の歴史的背景、12月は核融合発電の動向、と幅広いテーマに取り組みました。今話題の一つ一つのテーマに取り組み理解と疑問を深め、参加メンバーと親交も深めています。2024年も話題に取り組みます。

**SEFサロン (第132回案内)**

**担当理事 白崎善宏**

《 第132回案内 》

日時 : 1月24日(水) 15時00分～16時30分 Zoom方式  
 講演題目 : 「中国経済はピークアウトしたのか?～アジア経済の行方」  
 講師 : 後藤康浩先生 (亜細亜大学都市創造学部教授)  
 講演概要 : 中国経済は停滞から本格的なデフレに突入し、深刻な状況に陥っている。中国の高成長を生んだ二本柱の成長モデルである外資の直接投資による輸出拡大、財政主導のインフラ建設による需要創出がともに崩れ去り、残ったのは幅広い産業分野にみられる異常な過剰生産能力と膨大な財政赤字だからだ。一方、インドは素材から日用品、電子・電機、自動車まで幅広い産業分野がそろって成長しており、20年前の中国に近い。東南アジアはベトナム、フィリピンが高成長モードにあるが、ミャンマーは内戦、タイは政治混乱のリスクを内包する。中国のピークアウト、インドの勃興、東南アジアの迷走が今のアジアの実相といえる。

**12月度会員動向**

**事務局**

会員の入退会 準会員入会: 1名(森豊氏)、準会員退会: 1名(渡辺春夫氏)	12月末日現在の会員数 正会員 : 24名、準会員 : 47名、賛助会員 : 5社
---	--